



新春のご挨拶 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、基幹相談支援センターアクロスの活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。私たちは「誰もが自分らしく、安心して暮らせる地域づくり」を目指し、日々相談業務に励んでおります。社会情勢が変化し続ける中でも、皆様一人おひとりの声に真摯に耳を傾け、共に歩んでいく姿勢を大切にしたいと考えております。本年も、地域の関係機関や専門職の皆様との連携を一層深め、より質の高い支援体制の構築に努めてまいります所存です。お困りごとや将来への不安など、どうぞお気軽にご相談ください。新しい年が皆様にとって笑顔の絶えない、幸多き一年となりますよう、スタッフ一同心よりお祈り申し上げます。 本年も「アクロス」をよろしくお願い申し上げます。

活動報告 「虐待防止・身体拘束適正化」研修

令和7年12月8日、社会福祉法人八代学園様にて開催された事業所内研修に、講師として参加しました。現場の支援にあたられる多くの職員の皆様にご参加いただき、熱意あふれる研修の時間となりました。今回のテーマは、福祉現場において欠かすことのできない「障がい者虐待の種類や兆候、及び対応の方法」、そして「身体拘束の適正化」についてです。講義では、単に知識を共有するだけでなく、実際の現場で起こり得る具体的な事例をいくつか提示いたしました。虐待は決して他人事ではなく、日々の多忙さや慣れの中に潜んでいる可能性があることを再確認し、以下の3つの柱を中心に全員で深く考察を行いました。

- ・ **早期発見：些細な表情の変化や「いつもと違う」という違和感に気づくための視点**
- ・ **適切な対応：発生が疑われる際に、躊躇せず迅速に組織内・関係機関と連携する流れ**
- ・ **組織的な改善：個人の責任に帰するのではなく、組織全体でストレスケアや環境整備に取り組む仕組みづくり**

また、身体拘束の適正化についても、利用者様の尊厳を守るために私たちができることは何か、制度の趣旨に立ち返りながらお話ししました。このような研修の機会は、私たち相談員にとっても、現場の悩みや課題を直接伺うことができる貴重な学びの場となります。八代学園の皆様、誠にありがとうございました。

12月の活動内容 Main activity

- 2日 熊本県サビ管・児発管・相談支援従事者専門コース別研修
- 2日 氷川町民生委員・児童委員協議会
- 3日 アクロスサポート
- 3日 県南地域障がい者相談支援事業所連絡協議会 研修会
- 5日 氷川相談所
- 5日 八代支援学校コミュニティスクール（学校運営委員会）
- 15.24日 ピアサポーター養成研修企画会議
- 18日 八代学園事業所内研修
- 18日 氷川町審査会
- 19日 障がい者支援協議会 相談支援部会・運営会議
- 20日 あくろスペース
- 24日 八代圏域地域療育関係事業所連絡会議



スタッフのつぶやき小窓

新年あけましておめでとうございます。大好きなBzの音楽と共に、最高にテンションを高めて2026年を迎えました。昨年逃したライブチケットを今年こそは手中に収めるべく、自らの手で運を引き寄せつつも、働いて、働いて、働いてまいります！
とはいえ、相談業務という対話中心の毎日のなか、一人の時間に電子漫画でリフレッシュする「オフ」の時間も大切にしたいですね。スマホの見すぎによる片頭痛には注意しつつ、全力で皆様の安心を支えてまいります。
本年もどうぞよろしくお願い致します。



専門コース別研修 意思決定支援研修

令和7年12月2日、熊本市食品交流会館にて開催された「令和7年度 熊本県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者 専門コース別研修」に、講師として参加いたしました。本研修は、福祉従事者がより質の高い支援を提供するための専門的なカリキュラムで構成されており、当センターアクロスは「意思決定支援とは」という基礎講義のセクションを担当いたしました。講義では、以下のポイントを中心に解説を行いました。

- **意思決定支援における定義や基本的な考えを理解する。**
 - 支援付き意思決定と代理代行決定の枠組みと基本姿勢
 - エンパワメント型支援とレスキュー型支援

意思決定支援ガイドラインの構造や概要を紐解きながら、現場でいかに本人の「選好や価値観」を発見し、日々の支援に反映させていくか。受講された皆様の真剣な表情から、意思決定支援の重要性が改めて地域に広がっていることを実感する機会となりました。



アクロスはこれからも、相談支援の専門性を磨き、地域の支援者の皆様と共に、利用者様一人おひとりの「自分らしい選択」を支える地域づくりにまい進してまいります。